

たまがわがくえん町内会広報

発行 玉川学園町内会 会長 山田勝也 ☎ 725-0438
E-mail:t-chounaikai194@bz03.plala.or.jp http://www.194-0041.com

平成二十二年 度 総 会 報 告

未曾有の大震災の余韻が醒めない4月24日(日)午後一時より玉川学園さくらんぼホールで開催されました。215名の会員が出席し、予定の案件はすべて承認されました。

開会宣言に続き前野総務部長が大震災で犠牲になられた方がたのご冥福をお祈りしたいとのこと協力をお願いして黙祷を行った。



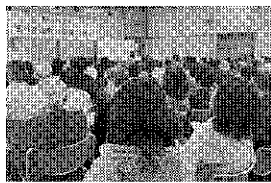
山田会長から3月11日、マグニチュード9の東日本大震災が起きたこと。それに伴い町田市と共に町内会も諸々の支援、対応を行っているとの事を踏まえて町内会として500万円の義援金を三役員が町田市長を訪問して日本赤十字社向けに贈呈した旨の報告があった。引き続き平成22年度の町内会活動及び事業について会員の皆さんはじめ幹部役員の方がたの協力で全て終了した事への感謝、「人に優しい安心して住むことのできる明るいまちづくり」を基本方針とした町内会運営の取り組みなど今後一層の協力をお願いしたいと挨拶があり、続いて津田勝さん(8丁目)岡田節子さん(2丁目)の両名を議長に選出、議事に入りました。

◎事業報告、収支報告が承認される

平成22年度事業報告は一括して三浦副会長より決算報告は鷹簀経理部長から報告されました。続いて岩崎けい子、亀田恵津子会計監査から監査報告が行われました。質疑応答では掲示板の補助金、広報部の予算・実績、消防協力費についての質問があり、それぞれに返答対応しました。

◎事業計画案、予算案が承認される

平成23年度事業計画案の方針と活動の進め方は鎮目副会長より、各部の活動計画はそれぞれ担当部長から主旨説明がされました。質疑応答では違反広告物除却、広報部予算、防災部予算、まちづくり、消防、文化部予算予備費、会議日程の質問があり、それぞれに返答対応しました。



◎会計監査の選出

会計監査2名、藤吉選挙世話人から説明があり、推薦候補のお二人が承認されました。

◎その他の報告

- ・玉川学園地区町内会自治会連合会報告
- ・玉川学園交通問題協議会報告
- ・玉川学園コミュニティバス推進委員会報告
- ・玉川学園地区社会福祉協議会報告
- ・玉川学園まちづくりの会報告
- ・芝生の会報告
- ・こすもす会館収支報告
- ・さくらんぼホール収支報告
- ・消防団第一分団第五部の事業および会計報告
- ◎新、旧会計監査挨拶
- ◎閉会

～平成23年度事業計画～ 方針と活動の進め方

会員の積極的なボランティア活動で

「人にやさしい安心して住むことのできる明るいまちづくり」の推進と「だれもが歩いて豊かな景観を楽しめるまち」を目指し、住民の声を行政に反映させるとともに、住みよい環境の整備、促進に努めます。

- (1)防犯意識の高揚をはかり、防犯パトロール隊の活動を推進し、安全・安心のまちづくりを目指します。
- (2)防災意識の高揚をはかり、自主防災隊の活動を推進し、災害に強いまちづくりを目指します。
- (3)「混ぜればごみ」「分ければ資源」廃棄物減量に取り組み、町内会の資源回収活動を更に徹底し、循環型社会の推進を目指します。
- (4)「広報」、「町内会だより」及び「ホームページ」を通じて、地域の情報を共有し、会員相互の連帯をすすめます。
- (5)子どもから高齢者まで、広く参加できる集いを企画実践し、交流を深めます。
- (6)会員の高齢化、環境の変化など、地域社会が抱える課題をみんなで解決する仕組みをすすめます。
- (7)玉川学園交通問題協議会、玉川学園コミュニティバス推進委員会の中核として、会の運営に努めます。
 - ①交通安全のモラル向上を目指し、玉川学園前駅周辺の違法駐輪・駐車対策の推進と「駐輪・駐車秩序正常化キャンペーン」による啓蒙運動を実践します。
 - ②「玉ちゃんバス」南ルートの実現に努めます。
- (8)玉川学園地区社会福祉協議会の運営を協働します。

全ての住民が、地域の福祉課題を話し合い、助け合う活動を実践します。
- (9)「玉川学園こすもす会館」「玉川学園さくらんぼホール」の運営は関係自治会と協働し、その中核として円滑な運営に努め、広く会員の利用促進をはかり地域コミュニティの場として寄与するよう努めます。
- (10)近隣町内会・自治会との交流を深めるとともに諸団体と情報交換を密にし、ともに活動してふれあいの輪をひろげてゆきます。

また、「玉川学園地区まちづくりの会」の活動に協力します。

「支えあう住みよいまち」
「防災に取り組むまち」を目指します

会長 山田勝也



山田勝也会長

平成22年度は、会員の皆さんのご理解、ご協力と役員の献身的な運営により、計画通り執行することができました。心より感謝申し上げます。なかでも、支部長の皆さんには日々の活動に多大なご苦勞をかけました。又、自主防災隊長を先頭に防災委員の皆さん、防犯パトロール隊の皆さん、環境委員の皆さん等、多くの方々の活躍によって支えられました。

そこで、この一年を振り返り、活動の一端を記述します。

○玉川学園地区社会福祉協議会が発足しました

住みなれた生活の場の中で、子どもからお年寄りまで、障害のある人もない人もすべての住民が福祉課題の解決に向け、話し合い、活動し、だれもがその人らしく安心して暮らせるまちを目指し、「福祉のまち」の実現に向け活動の第一歩を踏み出しました。

○環境委員会が新たに発足しました

2008年（H14）環境部の中に環境協力委員会が組織されて8年が経ちましたが、地域の環境課題はますます多岐に亘ることから、環境委員会に改組し、会則にも謳い、新たに発足しました。

○資源回収活動が大きく変化しました

町内会地域資源回収から「町田市地域資源化特別団体」の認定を受け、市の行政回収も町内会が行うべく市との交渉と準備を進めてきましたが、今年4月から開始することとなりました。

○「玉ちゃんバス」南ルートの実現に一歩近づきました

車道が狭い問題など阻害要因をかかえ、時間のみを費やしていますが、地域住民の皆さんには2度に亘り説明会を実施しました。しかし、警視庁の指導は厳しく、昨夏、市が発表した工程表に一部支障が生じるなど、運行開始の見通しが遅れる状況にあります。実現に向け更なる努力を傾注します。

○玉川学園地区市政懇談会を開催しました

昨年11月19日、町田市から石阪市長をはじめ、13名の部課長が列席し開催しました。事前に提出した要望事項「①中心地（玉川学園駅前・商店街）の環境整備（含むバリアフリー化）②玉川学園駅前周辺の放置自転車・バイク解消対策 ③玉川学園文化センター改築計画 ④玉川学園地区社会福祉協議会の活動拠点づくり」の回答と意見交換を行い、併せて、市長から市政の現状を聞くことができました。今年も開催する予定です。

○東日本大震災の義援金を市長に寄託しました

3・11東北地方太平洋沖でマグニチュード9.0の大地震が起きました。この地震による津波で、三陸地方に甚大な被害を被り、加えて原発事故が重なり、過去に経験したことのない未曾有の被害規模となりました。この歴史的事象に対し、被災地の皆さんを支援するため、義援金300万円を資源回収収益金積立金より支出し、町田市長に託して日本赤十字社に届けました。

「支えあう住みよいまち」
「防災に取り組むまち」
を目指した活動を！

4月24日、200名を超える会員の出席のもと、定期総会が開催され、基本方針や各部の事業計画、予算案が承認され、スタートを切りました。

昨年設立した玉川学園地区社協による福祉のまちづくりや、3・11東日本大震災の教訓を踏まえて、今年、町内会基本方針「人にやさしい安心して住むことのできる明るいまちづくり」の原点

総務部

部長 前野紀夫



前野紀夫部長

「ほうれんそう」が大切な準備と開催、それらにともなう三役会、各部との連携、まさに報告・連絡・相談「ほうれんそう」が大切です。その他外部の地域団体とのかわりなどがあります。

町内会全体の運営を総じて担当しています。町内会では様々な行事を企画して活動していますが、役員だけの活動にならない

に立ち返り、「支えあう住みよいまち」「防災に取り組むまち」を目指した運営を心掛けたいと考えます。



鎮目副会長



三浦副会長

防犯防災部

部長 中村隆一



中村隆一 部長

防犯活動では、6月に防犯活動責任者会議を開催し、防犯パトロール等年間の活動計画について打ち合わせをしました。

この会議には町田第五小学校校長と南大谷小学校校長それに小学校防犯担当の校外委員、地域駐在所の巡査にも出席をお願いして、意見交換を行いました。

- ・ 5月23日 防災委員会（自主防災隊組織づくり）
- ・ 6月8日 防犯活動責任者会議
- ・ 7月4日 町田市主催の自主防災隊班長講習会
- ・ 7月26日 防災体験学習（立川防災館）
- ・ 8月23日 緊急連絡情報伝達訓練
- ・ 8月24日 玉川学園地区合同総合防災訓練（第一会場、町五小）
- ・ 9月5日 総合防災訓練（第二会場、南大谷小）
- ・ 9月26日 総合防災訓練（第三会場、成瀬台小）
- ・ 10月11日 家庭用消火器購入、詰め替え、廃却の業者紹介
- ・ 2月4日 防災勉強会
- ・ 12月19日 年末特別警戒パトロール
- ・ 1月9日 町田市消防団出初め式へ参列

年間を通じて
 防犯パトロール
 ・各地区防災倉庫の管理
 ・町内会防災倉庫の備品
 拡充
 ・年間を通じて
 街路灯の移設、新設、
 球切れ取り替え申請

平成23年度

今年総会において、今年度活動方針10項目が提案され、その中で、防犯と防災活動は、最も重要な活動として、平成23年度も推進することが決議されました。
 それを受けて防犯防災部としては

(1)防犯活動について

平成16年度から町内会では防犯パトロールを開始しました。警察の強力なバックアップもあり、パトロール開始後、年々侵入盗やひったくり件数は目に見えて減少しました。しかし、昨年玉川学園地区での侵入盗は7件と平成16年の1/6になったとはいえず、ここ数年7、9件の侵入盗が発生しております。町内会としては、より安全なまちづくりを目指して、防犯パトロールを継続推進するつもりですが、皆様の協力が不可欠な活動なので、会員の方の積極的な参加をお待ちしています。

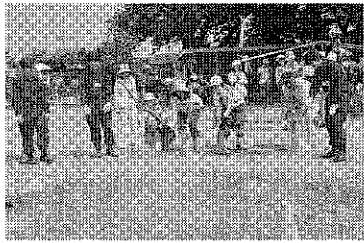
(2)防災活動について

3月11日に未曾有の東日本大震災が発生、その傷跡は現在に至るも生々しく残っています。今ま

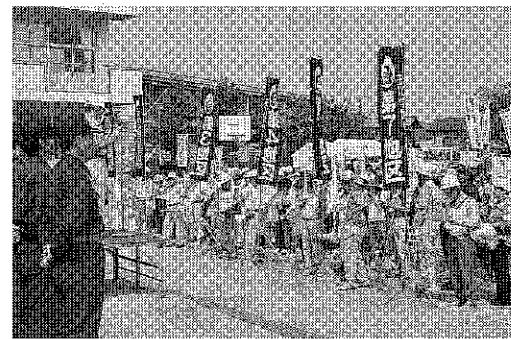
では、頭の中で防災を組み立ててきましたが、実際に連絡手段や交通機関のマヒが起これてみると、思わぬ事態の出現に皆が戸惑ってしまいました。この震災の経験を生かし、本年度は、防災体制の見直しを行うつもりです。今回の震災は、現在の科学技術では、「地震発生場所や時期の特定」は困難と言ったことを如実に示しました。「天災は忘れた頃にやってくる」を今一度思い出してください。地震列島日本に住んでいる以上、地震は発生するものを前提として、今一度災害への備えを見直してください。

本年度は、総合防災訓練の開催実施を、主要課題に据えて活動の展開を計りたいと考えています。皆様の参加をお待ちします。

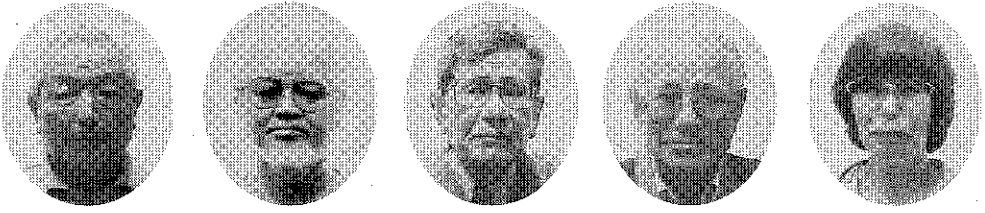
(3)その他



総合防災訓練



共に、玉川大学災害ボランティア隊との協力を模索していきます。



渡辺道夫さん 尾山芳弘さん 田中伸幸さん 山口康雄さん 高岡洋子さん

環境部

部長 松香光夫



松香光夫部長

町内会の活動の目的に「豊かな環境と住みよい街づくりの推進」が挙げられ、それに直接・間接に関係する担当部として責任の重さを感じています。昨年度は環境部幹事六名のうち、五名が新任というところで、戸惑いながらの初年度でした。「混ぜればごみ、分ければ資源」の標語に見られる資源物回収も、町内の皆さまのご協力を得て遅ればせながら、新年度から、週1回の回収から週3回収取の新体制へと前進しました。

町内会による自主的な回収は、私たちにとって念願してきたところであり、また、町田市からも、「特別指定」団体としての認定を受けて、地域住民の活動として期待されているとの自負もあります。とはいえ、この体制の実施については、町内会員だけでなく非会員を含めた住民の皆さまのご協力

もいただかねばなりません。昨年度からは会則によって環境委員会が発足していますが、環境保全と住みよい街は、役員・委員に任せられるものではありません。町内の皆さまの一人一人がいつも意識していただく必要があります。特に会員の皆さまには良くご理解いただいて、機会があれば周辺の非会員の皆さまにもお伝えいたたくようにお願い致します。

資源物回収に留まらず、防犯防災部と一緒に地区役員・委員を中心に防犯・環境パトロールを定期的に実施し、地域の様子をモニターしながら環境維持に努めていますし、ユニークな活動としての善



リサイクル施設見学のとて

今年には東日本大震災という未曾有の災害が発生し、津波による犠牲者の6割以上が高齢者であったとの悲しい事実が報道されました。その上、東京電力福島第一原子力発電所の損傷に伴う放射能汚染やいつまでも続く余震に、心穏やかに暮らせる日がいつ来るのだろうか



佐光與亜部長

高齢者部

部長 佐光與亜

と、不安な毎日をお過ごしのことと思います。このような暗い世相の中、高齢者の皆様にひと時の間だけでも楽しい時間をお過ごしただき、明日への活力の糧にしたいと、今年度の敬老会を9月19日(月)敬老の日、町田第五小学校体育館をお借りして開催したいと考えております。昨年度の敬老会は、猛烈な残暑が続く中計画されましたが、幸い9月20日の実施当日は暑さも多



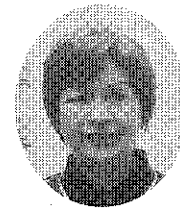
藤澤紀一さん



長谷川裕さん



鈴木妙子さん



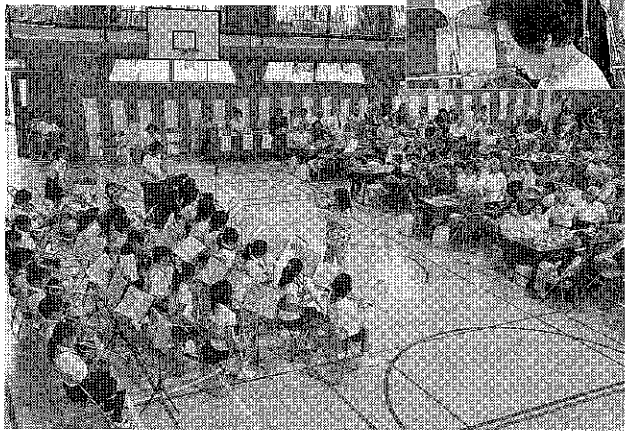
後藤美知子さん



富澤康夫さん

きながら、住みよい街づくりをお手伝いさせていただきます。

敬老会
町五小ブラスバンドと
のこいのこさん



少和らぎ、ご出席下さった皆様楽しいひと時をお過ごしいただきました。食事と歓談の後、町田第五小学校ブラスバンドクラブの素晴らしい演奏に引き続き、歌手「のこいのこ」さんに敬老会のフイーナールを飾っていただきました。会場の皆様とご一緒に「ふるさと」と「オーシャンゼリゼ」を合唱し、楽しいトークと肩たたき体操で皆様の身体と心がリラックスしたところで、懐かしいジャンソンを歌って、敬老会を華やかに盛り上げて下さいました。当日は153名のご高齢者の皆様にご出席下さいました。その他、来賓15名、町田第13団ボーイスカウト30名(内、リーダー4名)、町田第五小学校ブラスバンド32名(内、先生4名)、

出演者(「のこいのこ」)1名、町内会役員31名、総計262名の皆様のご参加を得ました。敬老会開催は高齢者部の最も重要な事業であり、その開催に当たっては、会場をご提供下さった町田第五小学校の校長先生、副校長先生をはじめ諸先生方、ブラスバンドクラブの生徒さん、当日の会場設営にご協力下さった町田第13団ボーイスカウトの皆様、団扇をご提供下さった読売新聞販売店様など、多くの方々の多大なるご支援をいただきました。ここに、ご支援いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

高齢者部ではまた、町田第3高齢者支援センター(旧名称「桜実会地域包括支援センター」)主催の「地域ケア会議」に参加し、センターとの連携を図っています。ケア会議への参加者は、町内会・自治会・民生委員・見守り員・福祉活動団体・社会福祉協議会・駐在・桜実会等で、年間5回開催されました。昨年度の主要テーマは、「地域の見守り」でした。「これからの地域会議とは」、「地域の安心(見守りネットワークと社会資源)」、「独居の事例から地域の問題を考える」、「地域の見守りを効果的にするには」等の議題に、関して活発な議論がなされました。



浜崎タキさん



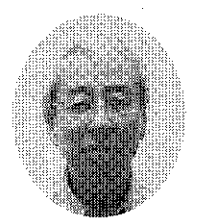
中村康裕さん

玉川学園地域では、「うきうきクラブ」、「西寿会」、「在宅福祉を考える会」、「東玉川学園会食お楽しみ会」、「たまり場7」等多くの高齢者諸団体が活動されており、高齢者部の役員がこれら諸団体の会合に参加させて頂き、交流を深めております。

青少年部は、若さと円熟期の新しい女性部員2名と前年度から担当の若そうな男性1名の三名体制でスタートしました。青少年部の大きなイベントは、「クリスマス会の集い」です。「餅つき体験会」があります。十二月開催の「クリスマス会の集い」は、町内会会員でもあります大久保美生子座長の「あつたか座」によるファンタジー、光のページェント「ネットワークス」は、十二月十八日(土)開催しました。当日は、小さな子どもさんは、お母さんと一緒に会場へ、総勢一五名の参加で開演され、夢のある物語で綺麗な舞台装置で楽しく観劇することができました。帰りには、サンタクロースからお菓子のプレゼントをもらい、来年もまた会いましょうと元氣な言葉で会場を全員が後にしたイベントでした。

もう一つのイベントは、二月十一日(祝・金)普段に行うことができない「餅つき体験会」を実施しました。当日は、気温四度、昼過ぎは雪が降る生憎の悪天候となりました。しかし、会場の文化センター前広場に、子どもさんご両親、お爺さん、お婆さんが参加してくれました。初めてお餅をつく子どもさんが、お父さんと一緒に杵を持ち一生懸命にお餅をつき「楽しかった」と大きな声を発してくれました。又、別の子どもさんは、「一人で餅十五個食べた。美味しかった」と嬉しそうに話してくれました。これらのイベントを通して、普段、触れることのない夢のある感動を与えるイベントを企画していくことの大切さをヒシヒシと感じる年でありました。一方、例月の活動として連携、支援する青少年健全育成玉川学園地区委員会の例会に出席する中、「第二十四回秋の子どもまつり」に幹事が参加し、子どもさんと昔懐かしい「こま回し」、「お手玉」、「けん玉」、「あやとり」を教える手伝いをする事になりました。しかし、イベント開始の冒頭は、自分が昔を思い出し、心不乱に講じることが、時間が経つにつれ子どもさん

青少年部
部長 田中勝英

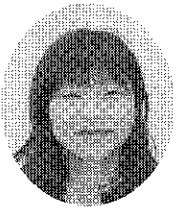


田中勝英部長



もちつき体験会

混ぜればごみ、分ければ資源



田村久美さん



江蔵 桂さん

ご意見をお待ちしております。併せ、何卒、ご指導ご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

成人部

部長 峰岸伸樹

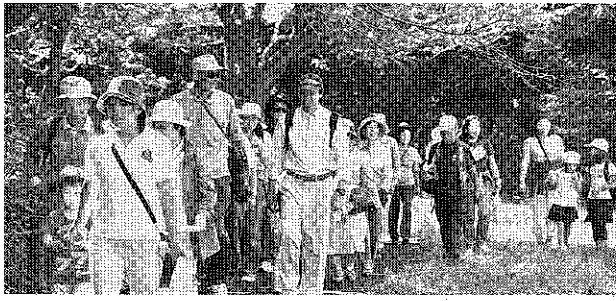


峰岸伸樹部長

平成22年度事業報告と平成23年度事業計画

平成22年度事業報告

平成22年度の玉連（玉川学園地区町内会自治会連合会）主催の健康ウォーキングは10月11日の体育の日に行われ、秋晴れのもと、尾根緑道を鑑水南から尾根緑道入口まで約9kmのウォーキングを



健康ウォーキング

104名の参加者とともに楽しみました。途中の都立小山内裏公園で昼食休憩の後、一気に終点の尾根緑道入口まで歩きました。参加者の皆様には、初秋の好天下心地よい疲れの残るウォーキングを楽しんでいただき、各地区への帰路のバス送迎も喜んでいただきました。

町内会主催の恒例の日帰りバス旅行は11月11日（木）に実施されました。

150余名の応募者のなかから抽選で選ばれた98名が大型バス2台に分乗し、雲一点もない秋晴れのもと奥多摩の鳩ノ巣渓谷を散策しながら紅葉を満喫し、小河内ダムに寄って雄大な湖畔の景色を楽しんだ後、奥多摩湖畔沿いに山梨県丹波山村に入りました。村営の温泉場「のめこい湯」では手打ちそばやキノコ汁などを戴き、温泉に浸かったり川沿いを散策したりして晩秋の山里を堪能しました。帰路は、柳沢峠を越えて塩山に入り、恵林寺を訪ねた後シャトル勝沼のワイナリーを見学し各種ワインの試食も楽しみました。参加者の皆様には、時間的制約はあったもののちよっぴり贅沢なバス旅行を楽しんでいただきました。

町内会健康づくりウォー

キングは平成23年3月26日（土）に恩田川沿いの桜並木の花見散策を93名の参加希望者でもって企画しましたが、直前の3月11日に起こった東日本大震災とそれに伴う福島原発事故のため残念ながら中止となりました。以上の恒例事業とは別に成人部の3部員は町田市健康づくり推進員として年約15回の委員会・講演会やさまざまな健康づくりイベント企画に参加して町田市内の他の町内会との親交を深めました。

平成23年度事業計画

昨年度好評だった玉連主催の健康ウォーキングと町内会主催の日帰りバス旅行、残念ながら中止



山田充子さん



藤村雄一さん



石川征靖さん

文化部

部長 浅見孝志



浅見孝志部長

文化部の平成22年度行事は、講演会とコンサートを行いました。講演会は、話題性があ

経理部

部長 鷹箸宏代



鷹箸宏代部長

平成2年より町内会活動の中で循環型社会実現を目指して資源回収事業が始まり現在に至っています。その収益金は大きな財源となっています。町内会を中心として他団体との交流を深める根源となり地域全体のつながりが広がっています。例年継続で募金拠出をはじめとして、青少年健全育成地区委員会・子ども会また高齢者対象の会食お楽しみ会等地域の活動に広く活用されています。

るものをも思つて、NHK大河ドラマで人気を呼び、ブームになっている「龍馬伝」にあやかるところにしました。関心が高く一般受けするテーマを考えたいつもりです。

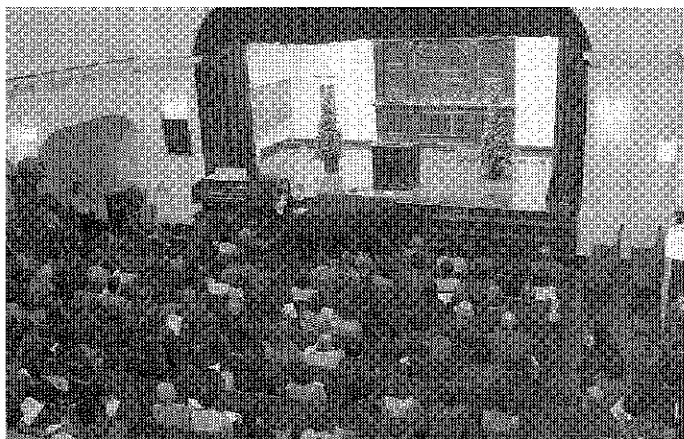
謎の多い坂本龍馬の歴史秘話ヒストリア「坂本龍馬をめぐる女性たち」と題して、講師に歴史作家で戦国時代や幕末の志士達を研究している竹村絃一先生をお招きして、9月18日（土曜）玉川学園文化センターで講演会を開催しました。100名を越す参加者があり大盛況でした。

坂本龍馬は土佐藩を脱藩し、倒幕および明治維

新に影響を与えた志士で幕末の動乱の時代を生きた人物ですが、その壮絶な生き様には、殊更に共感と感動を覚えるものですが、「龍馬をめぐる女性達」にも関心があったと思います。タイムリーな題材で講師の巧みな話術による人物評が面白く、好感を持たれたようです。

音楽会は、クリスマスに因んだコンサートを思案中であったところ、玉川大学が昼のチャペルコンサートを企画されていることを知り、同大学にご関係の深い井熊幹事のお力添えをいただいで、同大学の礼拝堂でのパイオルガン演奏を聴く機会ができました。

町内会のため、同大学と講師の格別なお計らいにより12月13日（月）に同大学の丘にある厳肅なる礼拝堂で、日本有数のパイオルガンの素晴らしい演奏を聴くことができました。演奏者は同大学芸術学部講師千葉葉子先生です。当日は、生憎肌寒く雨模様にも拘らず、約300名の多数ご来場いただき大盛況でした。参加者



パイオルガン演奏を聴く

町内会健康づくりウォー

の中には由緒あるパイプオルガンや古式蒼然で厳肅なる礼拝堂に郷愁を感じているオールドファンが見受けられました。偶然にも当日は、同大学の創始者である小原国芳先生の命日に当たり参加者全員が黙祷をささげました。

第一部は、バッハ、ショパン、シューマンの作品の中から3曲。第二部は、クリスマスソング5曲、アンコールにアメージン グレースでした。素晴らしいパイプオルガンの音色に感動、魅了され大盛況でした。平成23年度文化部の行事予定として、前年同様に講演会と音楽会を予定したいと思えます。講演会は、趣向を変えて文学的句いのあるもの、音楽会についても、今年度もクリスマスに因んだ

コンサートにしたいと思えます。引き続きご支援とご協力をお願いします。



井上加代子さん



平野美砂子さん

玉川学園地区町内会自治会連合会

「玉川学園地域はひとつ」を合言葉に、地域の6町内会・自治会が常に一体となり、地域の協力を体制を整え、地域の課題の協議、解決への努力や、会員相互の親睦を深める活動を通じて、心の通い合う住みよいまち、安心して暮らせるまちを目指して、地域コミュニティの活性化を推進しています。

- 平成23年5月18日の総会で今年度の役員が選出されました。
- 会長 山田 勝也(玉)
 - 副会長 田上 義利(一)
 - 事務局長 鎮目 義雄(玉)
 - 会計監査 根上 秀夫(松)

- 尚、各町内会・自治会の会長は(敬称略)
- 玉川学園町内会 山田 勝也
- 第一住宅自治会 田上 義利
- 興人自治会 勝田 洋子
- 松風台自治会 根上 秀夫
- 桜ヶ丘自治会 平泉 利廣
- (代行) 朝香 幸信
- 東玉川学園睦会 松本 忠

広報部

部長 伊藤 宏



伊藤 宏部長

よみやすさをモットーに

広報の担当になってから、早いもので一年余りが過ぎました。昨年度は勝手が分からず混乱の中

での仕事でした。町内会広報、町内会だより、町内会ホームページ、など、なかなか「よみやすい」「わかりやすい」とはいきませんでした。役員や皆様のご協力で、内容的にはかなり豊かなものにできたかな?と自負しております。今年度の一番の仕事はホームページの充実なのですが、力不足で殆んど

できていない状態です。どなたか力を貸していただけたらと思っております。是非ともご協力ください。連絡を待ちしています。引き続きご支援とご協力をお願いします。



井熊孝司さん

こすもす会館

地域のコミュニティ集会所として大勢の方々に利用されています。他の施設にはない1時間単位の利用ができます。調理室も充実しています。平成23年度の委員を紹介いたします。

- 委員長 山田 勝也
- 事務局長 鷹簪 宏代
- 運営 江藏 桂
- 管理 三浦 光利
- 庶務 後藤美知子
- 会計 浜崎 タキ
- 平野美砂子

なお、日常の業務は協力員による活動で順調に運営しています。

さくらんぼホール

平成23年度、玉川学園さくらんぼホール施設委員会・役員をご紹介いたします。

- 委員長 山田 勝也(玉)
 - 副委員長 田上 義利(一)
 - 副委員長 平泉 利廣(桜)
 - 副委員長 勝田 洋子(興)
 - 副委員長 根上 秀夫(松)
 - 事務局長 浅見 孝志(玉)
 - 会計 山田 充子(玉)
 - 書記 井上加代子(玉)
 - 書記 鎮目 義雄(玉)
 - 幹事 徳山 優子(一)
 - 幹事 高岡 洋子(玉)
 - 幹事 平田 道江(興)
 - 幹事 藤澤 紀一(玉)
 - 監査 渡辺 道夫(玉)
 - 監査 飯島 鐵也(一)
 - 監査 半澤 芳友(興)
- ご退任の方々お疲れさまでした。感謝申し上げます。
- (玉) 玉川学園町内会
 - (一) 第一住宅自治会
 - (桜) 桜ヶ丘自治会
 - (興) 興人自治会
 - (松) 松風台自治会

地区長さんから ~各地区の地区長さんから、地区の状況などについて語っていただきました。~

第2地区

平成22年度は計4回の地区会を開催し、地区内の諸問題を取り上げ議論した。特に第2地区での建築工事1)や野良ネコ対策、公道脇の庭木の剪定問題などの環境問題が数回にわたり話し合われた。地区会の基本方針としては、会員からの要望を積極的に取り上げて幹事に提出するように心がけた2)。



石川地区長

- 2件の新築工事(小津商店プロジェクト、旧みつはし宅跡再開発計画)
- 数件の要望書が提出されたが、未解決案件も残った。

昨年度は新しい町内会名簿の配布と資源回収ごみ集積所の看板の取り替えが行われ、各支部長や環境委員をはじめ多くの会員の皆様のご協力を頂き、特に後者の作業では、月見ヶ丘Aの浅見俊郎氏に他支部での取り付け等も手伝って頂きました。防犯パトロール、年末特別警戒パトロール、市との合同防犯パトロールは保科敏防災隊長池田安臣副隊長はじめ各支部防災委員を中心に実施された。

第1地区



尾山地区長

1地区の最大の特徴は地区独自の防災訓練を行っていることで、これは特筆されて良い。10月、40~50名ほどが防災倉庫前に集まって、AED扱い訓練、担架作り訓練、テント張り訓練等を行ったうえ、倉庫内の点検、飲料水の入れ替えを行っている。しかし今回の震度5に対して、震災対策本部を立ち上げるという想像力の欠如には反省の要がある。

防犯・防災・環境パトロールは毎回10名以上の参加があった。

植木の路上への大幅な張り出し、葉の繁茂による街灯遮蔽への対応、ペットの声公害への注意喚起の文章を作成し、該当者への協力要請を行ったが効果はいまいちであった。また、禁煙場所が増えたためか、タバコの吸い殻が路上に多い。冬場の火災危険度が増しているが、課題である。

第4地区



浅見地区長

平成22年度の地区会開催は、3カ月ごとに4回開催した。

定例的には、町内会の行事に積極的参加を要請するとともに、防犯、環境パトロール（毎月第3金曜日）の実施や、駐輪・駐車秩序正常化キャンペーン（春、秋）、防災訓練への参加協力、該当高齢者には敬老会への出席をすすめる等。地区の特記事項

1、資源ごみ回収の町内会1本化について、各支部に徹底する。

従来支部独自の方法で回収していた玉林台支部に対しては、支部会員全員の同意書を取り付け、スムーズに移行することができた。

2、3/11の東日本大震災による福島原発事故に伴う飲料水の放射能汚染騒ぎの時、4地区防災倉庫に備蓄のミネラルウォーターを乳幼児用の母親に配布し、地域に貢献する。また残りを「さくら保育園」に配ったので、園長から感謝のお礼状が来た。

3、玉林台会員の有志が、4丁目と5丁目の分かれ道付近（早咲きの一本桜）の川岸に草花を植えたことにより、ゴミのポイ捨て防止と環境に優しく、行き交う人達の癒しの効果があった。

平成23年度については、前年度に引き続き地区の防犯、防災に尽力し、環境パトロールも併せ強化していく。また高齢者のみの所帯には、会員の愛の手を、助け合い、支え合える地区をめざしていきたい。

第6地区



田中地区長

町内会西側に位置する東玉川学園一丁目の地区です。

平成22年度は総合防災訓練後、十分に体験ができなかった救命救急の実体験を町田消防署の協力を得て一月に三十名の委員の方を対象に研修会をおこないました。

一方、地区内で夜間侵入盗が発生の現実を踏まえ一段と防犯パトロールに力を入れ月二回の実施をおこない一年間、三百十二名の参加を得て防犯活動の啓発に努めることができました。

又、東日本大震災の地震を体験する中、より一層の防災への重要性を認識しました。平成二十三年度は、防災訓練のステップアップを図るべく担架による搬送、消火器訓練等を町田消防署の協力を得て実体験おこなう計画をすると共に防犯パトロールには、一層の力を入れていきます。且つ、お一人住まいの方への声掛け運動のモデル班づくりに取組み“お一人住まい見守り隊”の基礎づくりに努め、元気なまちづくりに取り組んでいきます。

第7地区



前野地区長

大きな町内会の中でも、会員世帯数が720を超える最大の地区です。年4回地区会を開催、出席率も良好です。穏やかな方が多く、特に大きな問題ありませんが、年間に25回実施予定の防災・環境パトロールにもっと多くの方が参加して欲しいと思います。またこの地区は今年、副会長、常任幹事合わせて4人になり、町内会運営の上でも応分の役割・活動が期待されます。

第3地区



佐光地区長

第3地区は、玉川学園3丁目の大部分および1丁目と本町田の一部の会員（平成23年3月31日現在の会員数：329世帯）で構成されていて、朝日ヶ丘、新玉園台、学園台、南学園台、南ヶ丘の5支部に分割されています。

地域に密着した様々な問題について協議する場として地区会が存在します。昨年度は3回の地区会を開催し、防犯（環境）パトロール、駐輪・駐車秩序正常化キャンペーン、玉川学園地区合同総合防災訓練、等について議論しました。防犯（環境）パトロールは、原則として毎月第1金曜日の午後3時～4時と午後7時～8時の1日2回行いました。パトロールの一部を「環境の日」として、「3丁目児童公園」および「新玉園台児童公園」の清掃・除草を行いました。12月27日には年末特別警戒パトロールを実施しました。

第5地区



田中地区長

平成22年度の回顧

- ①「地区会の開催」は5回（5月、7月、9月、11月、2月）実施。
- ②「班会」は計7件実施。新規加入のみの新班創設の会合（2件）と交流目的の班会（5件）を開く。
- ③「防犯、環境パトロール（含違反広告除却）」は14回（含年末特別警戒）実施し、計135名参加があった。
- ④「高齢者の集い」は初めての試みだった。松風台、雲雀ヶ丘地区居住者で高齢者を対象に個人宅で開催。26会員に声掛けし14名が応諾。実際の出席は9名（66～88歳）に留まった。
- ⑤「未就学児をもつご夫婦親睦会」（仮称）も初の試み。3回のヒヤリングとところどころ児童館長の助言も受けたが、開催出来ず年度を越えた。
- ⑥「玉川学園地区の連合組織行事への参加」では、いわゆる春・秋の駐輪・駐車秩序正常化キャンペーンに延べ44人が参加。08月の総合防災訓練には83名が参加。
- ⑦「町内会行事への参加」は省略

*平成23年度の年間計画は、字数の制約で省略。 以上

第8地区



鷹簀地区長

町内会地区それぞれの中で第7地区とならび会員数も多く範囲も玉川学園8丁目・玉川学園7丁目の一部・東至川学園4丁目の一部で構成されています。隣接の南大谷地域の同旧日本IBM跡地に建設されたマンション問題では7年間にわたって関わりを持ち現在では目の前に建物が大きく立ちばだかつていて、ながい間の諸々の活動を思い出します。

また、コミュニティバスについては、北ルート・東ルートの順調な運行をまのあたりに見て南ルートの運行を待ち望んでいる大勢の方がいらっしやいます。

住民の高齢化も進み無窮坂をのぼりきるのが大変でタクシー利用者が多くなっているのが目につきます。歩道箇所の補修工事も終わり玉ちゃんバスの一刻も早い運行実現に向けて進めて頂くよう願っています。

●記事の多少で地区順が不同になっています

「誰でもが、いつでも、助けて」と言えるまち

石阪市長を交えて、 市制懇談会が開かれました。

2010年11月19日、

石阪町田市長、を始めとし、関連部課長、総勢13名を交えて、市政懇談会がさくらんぼホールで行われました。町内会、自治会からは12名が一同に集まり、和やかな雰囲気の中で一部二部に分かれて熱心な質疑応答がなされました。ここでは、あらかじめ、要望事項を市に対し提出してあった一部について抜粋して報告いたします。

要望事項1 中心部（玉川学園前駅・商店街）の環境整備について
回答1（建設部長）現在、町田市では、玉川学園文

化センター改築に伴い、基本条件の整理作業に取り掛かっています。

駅前ロータリーの整備を含めた駅北側の一般的な整備については、玉川文化センター前の花壇は「学園の象徴としてのシンボル」でもありますが、玉川学園の街の歴史や実効性の可否も含めた検討を行うことになると考えています。

歩道等利用者優先の整備につきましては、来年度策定予定のバリアフリー基本構想の勘案と、無電柱化事業と併せて検討することになります。

（都市づくり部長）玉川学園南側の街路灯の設置については、電柱共架タイプの街路灯が設置されていますが、新たな街路灯の整備に際しては、歩道整備・道路整備・無電柱化等の環境整備と併せて行う必要があり、街路灯のみの設置は現状では難しいと思われま

す。玉川学園地区では、町内会や地域団体の活動が活発です。周辺地域の環境整備についても町内会を中心として、まちづくりの専門家有する『玉川学園地区まちづくりの会』とも連携し検討して

いたいただきたい。櫛の存続移設、伐採等については地域の合意形成が必要で、学校法人玉川学園、小田急電鉄（株）との連携については、市として慎重に対応していく必要があると考えます。

要望事項2 玉川学園前駅周辺の放置自転車・バイク解消対策について
回答2（建設部長）玉川学園前駅南口自転車等駐

車場は、（財）自転車整備センターにより整備する予定で協議を進めています。用地につきましても、鉄道敷地内の町田市所管の用地との交換も含め、小田急電鉄（株）に申し入れを行っております。

当面の処置としまして、来年度は駐車場の支障となつてい

るラバーポールを撤去し、路面補修を行う検討をしております。なお、自転車駐車場の整備に当たっては鉄道敷地内にある桜の撤去も必要になると考えております。

市内の小学校・中学校におきまして自転車運動等の交通安全教室、町田ドライブイングスクールにて高齢者向けの交通安全教室を町田警察署、交通安全協会の協力をいただき実施しております。

今後、町内会・自治会単位での安全講習会も実施したいと考えております。
要望事項3 玉川学園文化センター改築計画について
回答3（市民部長）本年度の玉川学園文化センター改築の取り組みは、基本調査を行っております。建替えの基本方針の前提となる基本的条件は、建設用地の検討を含めた整備を行ってまいります。

調査は次の3項目につ

いて行っています。
①地域センターとしての現状と持つべき機能の調査

②玉川学園地区の拠点としての役割、可能性の調査

③敷地及び建築規模の調査
この地域の活動拠点としてふさわしい玉川学園文化センターのあり方をとらえた上で、その役割を果たせる施設づくりをしたい。また、玉川学園文化センター建替えが、玉川学園地区のまちづくりの契機になればと考えております。

今後、市が玉川学園文化センター建替えの基本構想を明らかにし、連携してまいります。

現在、市民センター関係の施設整備は、「鶴川駅前公共施設」、「忠生市民センター」、「成瀬センター」、そして、「玉川学園文化センター」を予定しており、順次進めてまいります。

建替えに関する情報については、玉川学園文化センターで発行している「たまぶんだより」や「玉川学園文化センターニュース」で、お知らせいたします。

（市長）玉川学園文化センターへの階段の下と左側は学校法人玉川学園のもの。おそろく、駅を降りた時の最初の景観を大事にしていると思

います。それは、学校法人玉川学園だけでなく、住民の方々にも同じようにあるのではないかと思

ます。立木と花壇をどう残して利便性を確保するかが問題になると思

います。敷地の拡張については、上に拡げるとバリアフリーの問題がでてきますので、仮にエレベーターを設置するにしても一台ではすまないことにな

りますから、どういう敷地にするかは難しい問題だと思

います。これは、皆さんと話し合う共通のテーブルを設け、これから何度も話し合っていくことになると思

います。構成としては、学校法人玉川学園、地域の皆さん、市役所、小田急電鉄（株）の四者で、「まちづくり連絡会」といったようなものでスタートすることが前段としてやるべきことではないかと思

っています。
要望事項4 玉川学園地区社会福祉協議会（以下地区社協という）の設立に伴う活動拠点づくりについて
回答4（地域福祉部長）地域福祉を推進するため、地域活動の場としての拠点整備が必要であると

考えています。町田市では、玉川学園文化センターの施設整備計画と歩調を合わせて玉川学園地区社協を中心とした地域拠点について検討して

いきます。
2010年度に現行の地域福祉計画の期限が満了となるため、第二次計画の検討に着手します。計画は「全体計画」と

「地区計画」で構成する予定。これまでの行政縦割りによる計画策定から脱し、福祉、健康、保健などは地区の共通テーマとなることから、地域福祉部、いきいき健康部、子ども生活部の三部が主体となり計画作りを

します。
〈計画の期間〉
2011年度から2015年度までの5年間とします。

〈次期計画の特徴〉
全体計画に加え、新たに地区計画を策定します。

○全体計画は町田市全体の地域福祉を推進する計画に改定します。
○地区計画は地区の特徴や需要を反映した地区ごとに計画を策定します。

○地区割りは、町内会・自治会を単位とした11から12地区にする予定です。

○地区計画は、町内会・自治会を単位とした11から12地区にする予定です。

○地区計画は、町内会・自治会を単位とした11から12地区にする予定です。

○地区計画は、町内会・自治会を単位とした11から12地区にする予定です。

で解決する仕組みをつくることで地域の支えあいや地域力を高めま

す。また、先駆的な事例は他地区で新たな取り組みを始める動機づけにもなります。このことを目的に地区主体の計画づくりを地域に密着してすすめます。

〈地区計画の向上〉
○地区計画を有する地区を増やしたり、さらに計画内容のレベルを高めるために継続して地域づくりに取り組みま

す。
その後二部に移り、石阪市長から、①ゼルビア、②自治基本条例、③高齢者、④子ども、⑤学校に関する話題が説明されました。

（町田市政策経営部広報広聴課作成報告書より）

編集後記

初夏の発行を目指し、準備を進めていましたが、東日本大震災や、原子力発電所の事故に伴う放射能汚染、節電、猛暑、台風、など、その対応に追われ、発行が延び延びになってしまいました。そのため、記事の内容の予定がすでに終了してしまつたものもありますが、町内会だよりではお知らせできなかったので、まとめとしてお読みください。（伊）